



# ぬくもり

[平成25年2月15日発行]

輝く人とまち 人 つながる可見 — 「参画」と「協働」による“市民中心のまちづくり”

## 勇気の源は、熱の力なり!

(熱意)

(力用)

「よしやろう!と一歩踏み出す勇氣」に  
拍手喝采!



可見市「成人式」受付会場で

最初の一步を踏み出しなさい  
最初の一段を上りなさい

(\*(米)黒人・公民権運動指導者:マーティン・ルーサー・キング)  
(「私には夢がある」演説・50周年です)



ゾウ「ゆめ花」は東北の子どもたちに  
「勇氣」を持って!の心で書いています!

※(解説)  
今まで「絆」「ファイト日本」等の字また桜の絵を  
東北の子どもたちへ贈っています。  
「市原ぞうの国」(千葉)より(公)人権啓発センター  
(岐阜市)経由で可見市に寄贈されたものです。  
(「人権」と「勇氣」の字は本センターで展示中です)



「ふるさとへ」の語りを!

何が起ろうとも自らの道を勇ましく!

たいていの者は  
自分でも思いがけないほど  
素晴らしい勇氣を持っているのだ!  
(\*(米)作家:テール・カーネギー)

### 目次

- 迎春のかがやき 本センター会長 杉山 桂 ..... ①
- 特集「人権文化の光彩」と「(24年度)本センター重大ニュース」
  - 平成24年度(第11回)人権啓発入選「標語・300字小説」 ..... ② ~ ③
  - (解説)・応募者総数 : 2,235人(小学生1,797人・中高一般438人)(前年比:+500点)
  - ・入賞作品(37点):標語30点 300字小説7点
- コーナー
  - ある日その時 —— 「世界人権宣言を起草した人たちのこと
  - 投稿だより(心田への薫風) ● ぬくもり・まゆちゃん①
  - 後援企画(コンサート:安田祥子<さちこ>ソプラノ・童謡歌手)のご案内・他 ..... ④

### 「世界人権宣言」採択65周年

1948年12月10日 第3回国際連合総会で採択された、すべての人民とすべての国が達成すべき基本的人権についての宣言。

### 今年の人権・ホットメモリー

- ・児童福祉法施行65周年
- ・個人情報保護法施行10周年
- ・障がい者基本法施行20周年

### 迎春のかがやき

### 向かい合いの助け合いを

本センター会長 杉山 桂

新春を迎え、健やかな年となるようスタートされたことと思います。

多くの困難が人それぞれの人生には起こります。

すべてが自身の原因とも限りませんが、永い人生お互いさます。

他人を思い、人と人とがまっすぐ向かい合いながら

助け合いができるよう、少しでも心豊かなまちになるよう努めてまいりますので、皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



発行

可見市人権啓発センター(可見市総合会館分室内)

〒509-0203 可見市下恵土5166-1 TEL/FAX 0574(63)7990

ホームページ

可見ぬくもりネット

検索

アドレス <http://www.kani-nukumorinet.jp/>

# 人権文化の光彩 平成二十四年度

## ・人権啓発入賞(標語)

(選考・関係者その他機関の代表による)

2014作品  
より選考

### 【最優秀賞】

勇気だし 一步ふみだしそうだし  
一人でなやまずみんなでかいけつ  
根本 陸(小学校六年生)

### 【優秀賞】

だめなこと だめだといえる  
強い意志  
笠木結衣(小学校六年生)

やっちゃだめ! 自分がされて  
いやなこと  
井戸美希奈(小学校四年生)

思いやり 笑顔で育てる  
心の芽  
後藤茉羽(小学校六年生)

見逃すな その子の小さな  
SOS  
矢藤桜子(小学校六年生)

だいじょうぶ? やさしい言葉  
ありがとう  
加藤純奈(小学校六年生)

### 【入選】

やめてくれ 悲痛な言葉は胸の奥  
言えない人の立場になろう  
井本義也(小学校六年生)

友の手を ぎゅっつとにぎって だいじょうぶ  
二宮彩貴(小学校六年生)

一人にしない・させない 思いやりの心  
永盛沙梨杏(小学校六年生)

やさしさで つみ取る心の いじめの根  
山村悠陽(小学校五年生)

何がおきても安心だ 家族がいつもそばにいる  
藤原幸恵(小学校六年生)

言えるかな 勇気を出して 助けて  
藤木寧々(小学校六年生)

ひとことで 救える命 みんなの笑顔  
吉田奈未(小学校六年生)

いじめには 早めにきつこう 仲間の目  
小出紗永(小学校六年生)

なくなっていく命なごりやしんない  
いじめでかなしむ 人無くそつよ  
水木 優(小学校六年生)

おもいやり 人と人をつなぐ橋  
人間がもつ大事な心  
若宮凌雅(小学校六年生)

見つけたら ほっつとおかずに 助け合ひ  
源 日向(小学校六年生)

優しい手 一人のあの子に さしのべて  
高野美歩(中学校一年生)

かげ口悪口 いじめの始まり  
古川奈歩(小学校六年生)

やめようね 仲間がいやがる ちくちく言葉  
島中 響(小学校六年生)

その勇気 いじめをなくす かぎになる  
安藤有里(中学校二年生)

笑顔とは 心を結ぶ 虹の橋  
渡邊凌也(中学校二年生)

やさしさは いじめがきえる 消火器だ  
石本 航(小学校六年生)

だいじょうぶ ひらいてみようよ その心  
山下茉莉(小学校五年生)

悪い言葉は 痛いんだ  
でも、やさしい言葉で 治るんだ  
千葉康平(小学校六年生)

遊びでも 絶対言わない 人のグチ  
古川真実(中学校三年生)

一人でも いじめを止める 勇気出せ  
大見李佳(小学校六年生)

わるぐちは ひとのこころを きるナイフ  
田巻翔生(小学校五年生)

何気ない 言葉にいつも 思いやり  
根村恭平(中学校一年生)

気付きたい 仲間のよさと 悩心事  
加藤郁穂(中学校三年生)

## (24年度)本センター重大ニュース(実績)

12/27

〈市原ぞうの国〉  
ゾウの「ゆめ花」  
書の「勇気」を頂く

新年度小学校巡回セミナー  
(ぬくもり教室)として活用する。



(富田市長より本センター会長へ)

10/15

祝:機関紙創刊  
50号発行

富田市長から  
「特別寄稿」頂く。



5/20

10/28 11/4  
公民館まつり

初の「まつり会場啓発活動」  
(帷子・広見・平牧・各公民館にて)



対話者数 約3,500名

11/26

12/10

(第1~2回)ぬくもり教室

・旭小学校  
・今渡北小学校  
児童・先生約500人



ゾウ「ゆめ花」書  
「人権」をツール  
にして

7/21

11/17

(第1~2回)地域ぬくもりの集い  
帷子公民館と広見公民館にて  
(約300人参加)

・詩人・桑原律氏  
ぬくもりのボエム  
(詩心・トーク)  
・演出:朗読・パワーポイントで



講話のようす

市長あいさつ

# ・人権啓発入賞

## 【300字小説】

〔選考・関係者その他機関の代表による〕

221作品  
より選考

### 【最優秀賞】

市田佑来(中学校一年生)

「大丈夫?」え。顔を上げた。一人の女の子が私に手をさし伸べている。向日葵ひまわりのようにやさしい笑顔で。

「うん。」

「そっか…。あの人達ひどいね。」

私は応えられなかった。あの人達が恐くて、こんな所を見られたらまた何かされるかと思ってしまう。でも、もう一つの感情は怒り。私はしばらくその場に座ってた。女の子は何も言わずに座っていてくれた。しばらくして私の気持ちが悪く落ちてきたころ、女の子が「何があったか、どうしたいか、聞くよ。」その瞬間、心の中に「パツ」と温かい光がさしこんできた気がした。

「うん。」

それから私は、彼女と話しをしながら思った。少しの勇気、それで私もあの向日葵ひまわりになれる。」と。

### 【優秀賞】

須藤栄水(小学校五年生)

「花、うざいよね。」ってよく話しかけられる。花は、少し自己中心的でじまんばかりしてくる子。だけど話をすると、とっても楽しいのだ。みんなは、花をよけていて、あまり話さないから知らない。ある日、いつも明るい花が暗かった。私は心配になったので、話しかけた。すると

「あやみも私がきらいなんですよー!。」

おどろいた。ぎっと花をみんながきらついていることに気づいたのだ。私は勇気を出して

「花は少し自己中心的だな。ってみんな思ってるみたい。私も少し自己中心的だから、いっしょにがんばって直そうよ。」

花は笑顔でうなずいた。私と花は、いっしょにがんばる友だちになった。

### 【優秀賞】

加納梨帆(小学校六年生)

「もういやだ。」だっていじめにあっているから。なにも悪いことなんかしてないのに。泣きながら帰る電車の中、若い人が座り、お年よりが立っている。私は、さっきの倍悲しくなった。なぜだろう。同じような日々を過ごしていたある日。電車の中で、妊婦さんが立っていた。それも、つらそうに。私は、「どうぞ。」と席をゆずった。妊婦さんは、笑顔で「ありがとう。」と言った。この時、私は今まで感じたことがないくらい心が温かくなった。「元気な、お子さんを産んでくださいね。」と言い頭を下げ、私は決心した。思いやりを持って一歩ずつ歩んで行こう。そして、自分の幸せをつかむのだと。

### 【入選】

海住芽美(中学校三年生)

夏祭りの日、小さな女の子に出会った。女の子は泣いていて、周りに大人はいない。迷子なのだと思う。私は誰かが何とかするだろうと、声をかけずに通らずぎよつとしたが、顔を上げた女の子と目が合ってしまった。

「どうしたの、お母さんは?」

「分からない。いなくなっちゃった」

「じゃあ、一緒に探そう」

そう言っって手を差し合えると、ぎゅつと握り返した。ぎつと二人で怖かったのだらう。

お母さんは、人混みの中にいた。何度もお礼を言ってもらい、少し恥ずかしくなった。女の子も、とてもうれしそうに言ってくれた。

「お姉ちゃん、ありがとう」

私も、知らない間に笑顔になっていた。

### 【入選】

亀井隆平(小学校六年生)

小学校に空という少年がいました。空はテレビで、最近いじめ問題が多いことに気付きました。そこで、弟の陸と一緒に、「どうしたらいじめがなくなるか」を考えて、空は、「コミュニケーションをとること、陸は、人を大切にすることを考えました。空は、学校や地域の人に話しかけ、少しずつ楽しく接しました。陸は、友達と話す時に、相手の気持ちを意識しながら話しました。」

夜、二人は今日の出来事を話し、二人の意見を合わせ、これからどうしたらいいのかを考えている時に、二人が、「人を思いやる気持ちだ。」と言いました。二人は、人を思いやる気持ちを持ち、生活することになりました。

### 【入選】

鈴木茂樹(中学校三年生)

僕は、学校が楽しくなかった。ただ学校に行き授業を受け、帰る、話す事は先生とわずかわらぬ、その繰り返しの毎日。

ある日、靴箱に一つの紙が入っていた。もちろんラブレターではない。内容は、「もう学校にくるのはやめれば。」と僕の存在を否定する

物だった。それから毎日のように靴箱には紙が入っている。内容は見ていない。

その日も僕の靴箱には紙が入っていた。しかし、いつもと違う。くしゃくしゃになった紙と、普通の紙の二つだった。その時、

「おはよう。」

と僕は声をかけられた。

僕は紙の中身を見ない、一人じゃないとわかったから。

### 【入選】

稲垣舞乃(中学校三年生)

ある一人の少女がいた。その少女は教室に通えていない。前に、いじめにあつたのだ。

私はその少女に給食を渡しに行く。

「Aさん、いますか。」

返事がない。今日も休みだ。そう思いながら私は教室に戻るのだ。だいたい、いつもこの繰り返しだ。Aさんは今、どんな気持ちなんだろう…。

私はこう考えた。Aさんに給食を渡すときは、笑顔で渡そうと。

いじめは人を悲しみに追いやる。そんないじめは私は許せない。だから私は、いじめがなくなるよう、減るよう、悪口などからやめていきたい。そして、できることから一つずつやっていきたい。

### 【標語・300字小説】作りの考え

作りはなかなか大変です。取り組んでいる間に、たこえは

- (1) みんなが仲良く楽しく生活するにはどうすればよいか
  - (2) いじめの問題について、どのように考えればよいか
  - (3) 弱い立場の人たちに、どんな手をさしのべたらよいか
- など、考えている間に、自分の頭や心が夢中にならてきます。そのことが、「めくもりの心」を書く大切な栄養になります。自分の力で挑戦したり、考えてみますよ。

きつめくもりのあんならしい自分を発見してほしいと思います。



複写禁止

# あふロトの時



## 「世界人権宣言を起草した人たち」のこと

本宣言は、1948年に国連で採択され、本年は65周年の佳節です。人のいのちの限りは、人権侵害は存在する」と言われるように、人の生命の中に集食う偏見や差別の心をあらためる必要があります。ゆえに人権は、啓蒙の継続が大切なものです。「人間が人間らしく幸せに生きて行くための権利」の規範である基本的人権につき世界が守り育くもうとして宣言し、採択された決議なのです。

### ★(その1) 原案を起草した人たちについて

国連人権委員会の命を受け、ルネ・カパン(仏)・フーベル平和賞受賞者は、ジョン・ハンフリー(カナダ)がつくった46項目の素案を添削して30条にした原案を、(豪)・(仏)・(蘭)・(英)・(米)・(チリ)・(中国)の7カ国での起草委員会に提出しました。

### ★(その2) 原案を各国の審議に伏し採択に尽力した人について

法的拘束力のない人権章典のみでは、意味がないので、拘束力のある「人権規約」も審議するよう人権委員会に提出しました。その人権委員会の議長であったのが、米大統領フランクリン・ルーズベルトの妻であったエレノア夫人であり採択に最も尽力した人です。

### ★(その3) 宣言は、国連総会(第3回パリ)に748ヶ国で採択されました。

今では、190ヶ国が採択しています。また規約の締約国は、160カ国です。(2009年時)

エレノア・ルーズベルトは、「人権は、どこから始まるのでしょうか。実は家の周囲など小さな場所からです。余り近すぎて世界地図には載っていません。でもそれこそが人が生きていく世界なのです。そこでこれらの権利を持たない世界なら、ほとんど意味をなさないでしょう。」と言っています。

○そこで「国家の集まり」と共に「人類・民衆の多様な声」を強め生かすことが重要です。

(国連提言・識者)

## 心田への薫風

### 「勇者」になる言葉

人権教育推進委員長(可児市教育委員会) 小崎康史  
 (今渡北小学校長)

いじめは、やってはいけないことだと分かっていてもなかなかなくなりません。いじめで、こころや体がぎすぎすき命をなくすこともありま。いじめにすることは悪いことであり、ひととして絶対にしてはいけないことです。可児市みなとこころをなくす(こころ)にんげん(こころ)

可児市では、「可児市子どもいじめの防止に関する条例」が施行され、学校・家庭・地域が一体となって「いじめのない可児市」をつくろうと努力を続けています。いじめに関わるある親子の会話を紹介します。

子：今日、学校で「いじめ」をなくそう！  
 母：どんなお話があったよ。  
 子：いじめは人の心に悲しい言葉しか生み出さない。だから、学校はいじめをなくすためにすべての先生が力を合わせてほくたちのことを守ってくれて話されたよ。  
 母：仲間はすれにされた時…さみしさ・暴力をふるわれた時…いたさ

子：いやなことを言われた時…つらさ  
 母：これらが続く時…かなしさ  
 子：どれもお母さんは、あなたに感じてほしくない思いだわ。  
 母：ぼくもそう思う。  
 子：お母さんは、あなたには「思うだけでなく、きらいだからなくしたい」という思いを行動につづす「勇者」になつてほしいな。  
 母：「勇者」は、腕力が強い人ばかりを指すのではない。「勇者」とは、人に勇気を与えてくれる人。人の勇気を引き出してくれる人。  
 子：ぼくは「勇者」になれるかな？ どうしたら「勇者」に近づけることができるかな。  
 母：友達と共に頑張ろうとする時「一緒にやる」頑張り認める「すごいね」や「ありがと」のよつに、心にやさしさや楽しさが生まれる言葉を大事にしてごらん。心がぼかぼかしてくる言葉を使つてごらん。きつとあなたも「勇者」になれるよ。  
 子：いじめをなくすための「勇者」になる！ 思いを行動につづつしてみるよ。

### 後援企画

#### チャリティーコンサート

・出演者：安田祥子(さちこ)  
 (声楽家・童謡歌手)  
 ・4月20日(土)15:00~  
 (市)文化創造センター(主劇場)  
 ・入場料  
 2,500円(当日3,000円)  
 ・全席自由席  
 発売中(4月20日まで)  
 「アール」・「べるべる」  
 「新可児売店」で発売  
 ・主催：国際ソープチミスト可児  
 ・問合せ：高木実行委員長まで  
 ☎24-2324

#### 講演会

・講師：坂岡嘉代子 氏  
 ・テーマ：「生命の喜びを抱いて」  
 ~親子のかけこみ寺として  
 (はぐるま家開設)~  
 ・(トークと和太鼓の演奏)  
 ・6月8日(土)13:00~  
 (市)福祉センター(大ホール)  
 ・入場料  
 一般1,000円(当日1,200円)  
 ・主催：可児市倫理法人会  
 ・問合せ：前田まで  
 (090-6805-6121)

#### 編集後記(啓蒙のひかり)

成人式を取材しました。何人かの青年から「先々不安があるが…」「ごもかく親に心配させたくない」と言われ嬉しかった。田舎の恩師の言葉を思い出しました。  
 「鳥はなあー翼があるから飛んだんじやない！飛ぼうとした鳥だけが飛んだんじや！だから夢は大きく！勇気を強く持つてやろーと！」  
 また松下幸之助は、「人間には、2つの生命力がある。「生きよつとする力」と「使命を示す力」である。自分に与えられた天命・天役・天命をいかに生かすかである。  
 富や地位を得よつとするのは成功者ではない。使命に生きた時初めて幸せになれる。素直にそのことに勇み立つしかない。」(PHP出版・要言)  
 「浅きを去つて、深きに就くは、丈夫の心なり」(故事)です。「勇気」を旗印に社会で羽ばたかことを祈ります。今年も本センターへのご愛顧の程を宜しくお願い申し上げます。  
 (編集者：川手晴彦)

### あふロト まゆちゃん 11

〈勇気のでがんばろう!〉

作：多々ス / 画：miho



(本作品は、全て本職員でつくられています)